

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病虫害防除所長  
(公印省略)

令和2年度技術情報について

令和2年度技術情報第4号を發表したので送付します。

令和2年度技術情報第4号

令和2年7月31日  
徳島県

7月第6半旬の巡回調査において、トビイロウンカの生息密度が平年に比べて高かったことから、収穫の遅い圃場では坪枯れの被害が懸念されますので、現地においては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：普通期水稻及び酒米(山田錦等)

病虫害名：トビイロウンカ

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 8月～

3 発生状況

(1) 7月第6半旬の普通期水稻現地巡回調査では、発生圃場率が8.0%、株当たり寄生虫数が0.003頭、平年(0.3%、0.0005頭)と比べて高く、この時期の発生は、過去10年では、多発した2013年以来である。

(2) 高松地方気象台が7月30日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並か少なく、日照時間はほぼ平年並で、発生助長的な気象条件である。

4. 防除法等

(1) 圃場における発生状況を早期に確認し、1株当たりの成幼虫数が1頭以上の場合は薬剤防除を行う(表1)。

(2) 本虫は株元に生息しているので、薬剤が株元に十分到達するように丁寧に散布する。

(3) 防除時期に降雨が続く場合であっても、降雨の合間に薬剤防除を行う。

(4) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



図1 株元に生息するトビイロウンカ



図2 トビイロウンカによる被害(坪枯れ)

表1 トビイロウンカに使用可能な主な農薬(農薬登録内容：2020年7月29日現在)

作物名	農薬名称 (商品名)	希釈倍数・使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	RAC コード
稲	MR.ジョーカーEW	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	3(A)
	アドマイヤー1粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	4A
	アドマイヤー水和剤	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布	4A
	アルバリン粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4A
	エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	4C
	スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4A
	ダントツ水溶剤	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	4A
	トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	3(A)
	トレボン水和剤	2000倍	収穫21日前まで	3回以内	散布	3(A)
	トレボン乳剤	1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	3(A)
	トレボン粒剤	2~3kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3(A)
	なげこみトレボン	水溶性容器10個(500mL)/10a	5葉期以降 収穫21日前まで	3回以内	本田に水溶性容器のまま投げ入れる	3(A)
	ワイドパンチ豆つぶ	250g/10a	収穫35日前まで	1回	散布	2(B)